

亜硝酸リチウム防錆材入断面修復用ポリマーセメントモルタル AK厚付モルタル-KT

■ 東・中・西日本高速道路株式会社編著「構造物施工管理要領」記載「左官工法による断面修復の性能照査項目」の性能試験完了材料

AK厚付モルタル-KTは、プレミックス粉体の「RF厚付パウダーKT」とSBR系ラテックス混和材の「AK混和材」からなる亜硝酸リチウム防錆材入断面修復用ポリマーセメントモルタルです。主にコンクリート欠損部の断面修復（埋め戻し）、下地調整およびポリマーセメントモルタル系表面被覆材として使用され、厚塗り性に優れ、防錆材を含んでいることから鉄筋の露出した欠損部の断面修復にも適します。

▶ 特 長

- 亜硝酸リチウム防錆材の効果により、鉄筋の防錆性に優れます。
- 低収縮であり、ひび割れ抵抗性を有します。
- 耐久性に優れます。

▶ 用 途

- コンクリート構造物の欠損部の断面修復

▶ 製品概要・標準配合

- RF厚付パウダーKT: 20kg/袋
- AK混和材: 20kg/缶

■ 標準配合

| | |
|------------|-----------|
| RF厚付パウダーKT | 20kg(1袋) |
| AK混和材 | 3.4~3.8kg |

■ 1m³当りの標準使用量

| | |
|------------|--------------------|
| RF厚付パウダーKT | 1,838kg(約92袋) |
| AK混和材 | 313~350kg(約16~18缶) |

▶ 1袋当りの練り上がり量 約10.9ℓ

▶ 性能例(20℃)

| 試験項目 | | 試験結果 | 試験方法 |
|---|-----------|--------------------|--|
| 硬化時間 | | 1時間以上 | 東・中・西日本高速道路株式会社の構造物施工管理要領「左官工法による断面修復の性能照査」による |
| 厚塗り性 | | たれ、すれ、はがれ、ふくれがない。 | |
| 断面修復材の外観 | | 均一で、われ、はがれ、ふくれがない。 | |
| 硬化収縮性(%) | | 0.04 | |
| 熱膨張性(熱膨張係数:×10 ⁻⁵ /℃) | | 1.2 | |
| コンクリートとの 付着性 (N/mm ²) | 湿潤時 | 2.0 | |
| | 耐アルカリ性試験後 | 2.1 | |
| | 温冷繰返し試験後 | 2.0 | |
| 圧縮強度(N/mm ²) | 材齢28日 | 33.7 | |

- 上記データは標準配合時の試験結果です。また、厳密に管理された試験室内にて実施されたデータであって、現場においては異なる数値を示す場合があります。
- 上記データのうち「圧縮強度」は、4×4×16cmの角柱供試体により測定した結果です。φ5×10cmの円柱供試体の場合は、この値よりも小さくなる場合があります。

AK厚付モルタル-KT

施工概要

- ① 劣化あるいは脆弱化した部位を、はつりあるいは高圧水で完全に除去し、健全なコンクリート面を露出させて下さい。
 - ② コンクリート面は十分に清掃して、埃や汚れを取り除いて下さい。
 - ③ 鉄筋が発錆している場合には、防錆処理を施して下さい。
 - ④ 施工面には適切なプライマーを塗布して下さい。
 - ⑤ モルタルを練混ぜる際、過度の練混ぜによる泡の巻き込みすぎに注意して下さい。
 - ⑥ 練混ぜ量は、作業体制、環境条件等によって調整し、一度に大量のモルタルを練混ぜないで下さい。
 - ⑦ 1層目の塗り厚は約5mm程度とし、下地に密着するように施工して下さい。その後の塗り重ねは追いかけて下地となじむように行って下さい。
 - ⑧ 最終仕上げは、モルタルが締まった後に、金ゴテ仕上げを行って下さい。最終仕上げを行った後も急激な乾燥を受けないよう、シート等を用いて養生を行なって下さい。
- 詳細は、施工要領書をご参照下さい。



ご使用になる前に、必ずご確認ください。

●本カタログに記載される性能例他の事項は代表的な実験値や調査に基づくものであって、「すべての現場諸条件」に当てはまるものではありません。●ご使用になる前に、使用の目的や要求性能、および使用される場合の現場諸条件を考慮して、本製品が適正であるかどうかのご検討をお願いいたします。●特に、現場において実施されることの多い「圧縮強度」、「付着強度」については、試験体作成時の配合や環境温度、成形方法、試験体寸法や形状、その後の養生条件等により下回る数値を示すことがあります。●試験手順については、工事仕様書、発注者仕様書、または関連する指針(案)等をご確認頂き、必要に応じて監督係員と協議して事前に確定しておくようお願いいたします。

使用上の留意事項

- 練り混ぜには、AK混和材を用いて下さい。
- 欠損が大きいなどはく落の恐れがある場合は、鉄筋の設置、アンカー、メッシュの取り付け等のはく落防止対策を行って下さい。
- 外気温が5℃以下の場合は、作業を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、シート等の覆いの他、ヒーター等の保温措置を講じて下さい。
- 施工中および施工後早期に強風、日射、降雨、降雪等の影響を受ける恐れがある場合は、シートで覆う等の養生を行って下さい。
- 練り混ぜには、アルミニウム製の羽根は絶対に用いないで下さい。アルミニウム部材が摩耗し、施工後に異常膨張する恐れがあります。
- RF厚付パウダー-KTの保管は、雨露等がかからず湿気の少ない場所を選び、パレット等を敷いて床面から離れた状態で、ビニールシート等で覆って下さい。
- AK混和材の保管は、直射日光を避けるとともに、凍結を避けるために5℃以上、変質などによる劣化を防ぐために40℃以下で保管して下さい。
- 廃棄する場合は、硬化後に産業廃棄物として処理業者に廃棄をご依頼下さい。
- 洗浄水等の排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に従って廃棄して下さい。



安全上の注意事項

- 本製品は、カタログに記載されている方法でご使用下さい。
- 本製品は、セメント同様にアルカリ性を示します。ご使用の際は、眼、鼻、皮膚および衣類に触れぬよう保護具(ゴム手袋、保護めがね、マスク等)を着用の上、ご使用下さい。
- 誤って眼に入った場合は、直ちに清水にて十分洗浄した後に速やかに医師の治療を受けて下さい。
- 誤って飲用した場合は、無理に吐かせずに清水で十分に口内を洗浄した後に、速やかに医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着すると肌荒れを引き起こすことがありますので、付着した場合は直ちに水洗いして下さい。
- 作業後は、手洗い、うがいをして下さい。
- 本製品の取扱いに関して、詳細な内容を必ず、安全データシート(SDS)でご確認下さい。

このカタログの記載の諸性能および諸物性は、環境条件や使用条件などによりカタログと異なる結果を生じることがあります。十分にご検討の上、ご使用頂きますようお願い申し上げます。このカタログの記載内容は、予告無しに仕様や取扱いを変更することがありますので、ご了承下さい。

 太平洋マテリアル株式会社 <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

営業本部 機能性材料営業部

〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階 TEL.03-5832-5217

| | | | | |
|-------|-----------|--------------------|---------------|----------------|
| 北海道支店 | 〒060-0004 | 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 | 日本生命北門館ビル | ☎ 011-221-5855 |
| 東北支店 | 〒980-0804 | 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 | 大同生命仙台青葉ビル | ☎ 022-221-4511 |
| 東京支社 | 〒114-0014 | 東京都北区田端6-1-1 | 田端ASUKAタワー16階 | ☎ 03-5832-5241 |
| 中部支店 | 〒453-0801 | 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 | 名古屋KSビル | ☎ 052-452-7141 |
| 関西支店 | 〒532-0011 | 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 | 類ビル4階 | ☎ 06-7668-6001 |
| 中国支店 | 〒732-0828 | 広島県広島市南区京橋町1-23 | 三井生命広島駅前ビル | ☎ 082-261-7191 |
| 四国支店 | 〒760-0050 | 香川県高松市亀井町7-15 | セントラルビル | ☎ 087-833-5758 |
| 九州支店 | 〒810-0001 | 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 | 第2サンビル | ☎ 092-781-5331 |